

平成30年度第1回羽幌町社会教育委員会議

並びに羽幌町公民館運営審議会議事録

- 1 日 時 平成30年5月11日（金曜日）  
午後6時30から午後7時30分
- 2 場 所 羽幌町中央公民館3階：会議室
- 3 出席者 永沼慧久男 富田正夫 宮下裕加 本間範子 本間憲一  
小山由美子 八谷隆幸 西村教子 小國美恵子 大長 司

（事務局）山口教育長

渡辺課長 高橋係長 春日井係長 近藤主査

- 4 教育長から新委員へ委嘱状を交付
- 5 羽幌町教育委員会 山口教育長より挨拶
- 6 委員長・副委員長の選出  
委員長 大長 司  
副委員長 小國美恵子
- 7 大長委員長より挨拶
- 8 議事  
大長委員長により進行

（1）報告事項

- ①平成29年度社会教育施設等利用状況について  
（議案資料により説明）

- ・各施設とも利用人数については、大きな増減も無く推移している。
- ・中央公民館利用人数 35, 169人⇒37, 952人に訂正
- ・中央公民館の利用人数については、昨年度と比べて、約5, 000人ほど減少しているが、主な要因としては、全道、管内規模のイベント等の減少が主な要因ではないかと考えている。

②平成29年度社会教育事業計画書について  
(別冊資料により説明)

【主な質疑・意見等】

質問：「あざらしおはなし会」の設立30周年記念公演として開催する「のびのび子育て教室」は、どのような内容で実施するのか。

回答：大型絵本とパネルを使用して、なぞなぞ形式でのおはなし会を予定している。現在、製作中である。

意見：羽幌高等学校講座の参加者が少ないので、今年度は、新しい先生方をお願いして、野球、数学、楽器講座など楽しい講座を開設したいと考えている。

質問：学校ブックフェスティバルでの子どもたちの反応は。

回答：子どもたちは、みんな楽しんで本を借りている。

意見：高等学校講座などでの作品を町民芸術祭で展示してはどうか。

●コーディネーショントレーニング関連の意見等

意見：学校の授業にも必要である。

意見：部活動生徒の怪我が多い。コーディネーショントレーニング取り入れていきたい

教育長：今年度の教育行政執行方針でコーディネーショントレーニングを重点的な取り組みとしている。具体的にはこれからであるが、方向性としては、担い手の確保等、町として政策的に取り組んでいきたいと考えている。

③大会・研修会等について  
(議案資料により説明)

④社会教育事業参観記録について

- ・各委員において、活用し、感想、意見等を参観記録という形で報告いただくよう依頼。

【主な質疑・意見等】

意見：定例の会議以外にも学習会等、意見交流の場があってもよいと思う。

回答：検討する。

委員：事業参観記録の扱いは。

回答：今後の事業実施のための参考としている。必要があれば、一覧表等で報告したい。